

<p>【技術の名称】 中小径NSエコパイル工法 -先端羽根付き鋼管ぐい工法- (改定1)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第16-32号 改1 性能証明発効日：2020年5月13日</p> <p>【取得者】 日本製鉄株式会社 日鉄建材株式会社</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【技術の概要】

本技術は、鋼管の先端にらせん状の羽根を一枚取り付けた鋼管ぐいに回転力を与え地中に施工し、これを支持ぐいとして利用する技術である。本技術により設計・施工されるぐいの地盤から定まる押込み方向の許容支持力に関しては、2000年3月23日に(財)日本建築センター性能評価 BCJ-F1063、2000年5月31日に旧建設省の大臣認定(建設省東住指発第238号)を取得しており、この性能証明は、本技術により設計・施工されたぐいの地盤から定まる引抜き方向の支持力の評価に関するものである。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第16-32号 (2017年2月8日)
 改定1：GBRC 性能証明 第16-32号 改1 (2020年5月13日)
- ・申込者の変更(新日鐵住金エンジニアリング株式会社が日本製鉄株式会社および日鉄建材株式会社に変更)
 - ・使用材料の追加(NSPP540(認定番号MSTL-0411)および認定番号MSTL-0412)を追加)
 - ・仕様の追加(鋼管径609.6の仕様を追加)

【技術開発の趣旨】

本技術は、軸径に対し羽根径を1.5~2.5倍に設定可能で、大きな押込み力・引抜き力が確保でき、ぐい先端部は開端形状としているため施工性にも優れている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単ぐいとしての引抜き方向の支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「中小径NSエコパイル工法設計施工指針」に従って施工された先端羽根付き鋼管ぐいの短期荷重に対する引抜き方向の支持力を定める際に必要な地盤から定まる極限引抜き抵抗力は、同指針に定める支持力算定式で適切に評価できる。

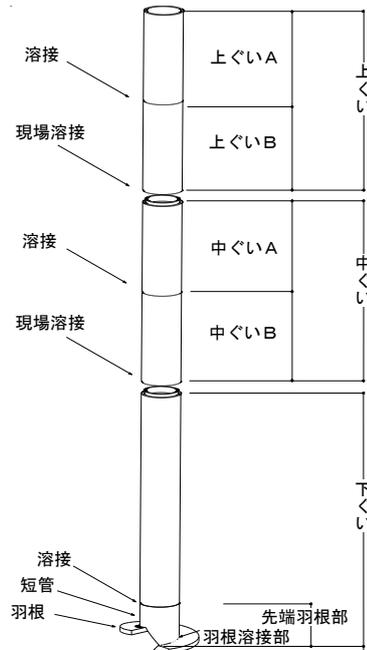


図1 基礎ぐいの構造

表1 適用範囲

項目	内容
杭径 Dp	φ139.8mm ~ φ900mm
羽根径 Dw	1.5 ≤ Dw/Dp ≤ 2.5 かつ Dw ≤ 1350mm
施工深さ L	最小深さ：3.6m ≤ L かつ L ≤ 6Dw 最大深さ：L ≤ 55.2m かつ L ≤ 130Dp
先端地盤	砂礫地盤(礫質地盤を含む)
ぐい周囲の地盤	砂質地盤及び粘性土地盤



図2 ぐい先端部の羽根



図3 施工の様子

【本技術の問合せ先】

日鉄建材株式会社 担当者：和田 昌敏

E-mail：mwada@ns-kenzai.co.jp

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX13F

TEL:03-6625-6310 FAX:03-6625-6311